

住宅改修申請手続き の注意事項について

1 住宅改修の目的

在宅生活での自立を支援する

在宅生活での



自立
支援



介護負担
軽減

の観点で必要性に基づき実施

2 対象者

要介護
or
要支援

認定あり

認定申請中でも申請可能

「自立」と判定されると全額自費

在宅

入院、施設入所中は対象外

退院・退所に向けた工事はアリ

支給は在宅生活に戻ってから

3 対象区分と工事例

手すり

廊下、階段、浴室
屋外（玄関ポーチ）

扉交換

開き戸 折れ戸・引き戸
開きの向き変更
握り玉 レバーハンドル

段差解消

床のかさ上げ・かさ下げ
スロープ設置
浴槽交換（またぎの調整）

便器

和式 洋式
高さが身体状況に合わない

床材変更

畳 フローリング
浴室の洗い場
（タイル 滑りにくいもの）
階段の踏面の滑り止め

付帯

手すり設置に伴う
ペーパーホルダ移設（トイレ）
など

劣化を理由とする工事は対象外

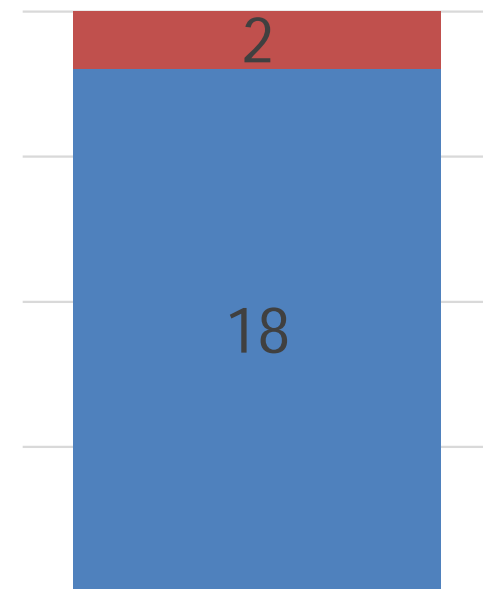
4 支給限度額



原則として
対象となるのは生涯で20万円までの工事（累積可）

【例1】1割負担の人が総額20万円の手すり工事

支給対象 = 20万円
(内訳)
自己負担 = 2万円
保険給付 = 18万円



■ 保険給付 ■ 自己負担

条件によりリセットされる場合有り（後述）

4 支給限度額

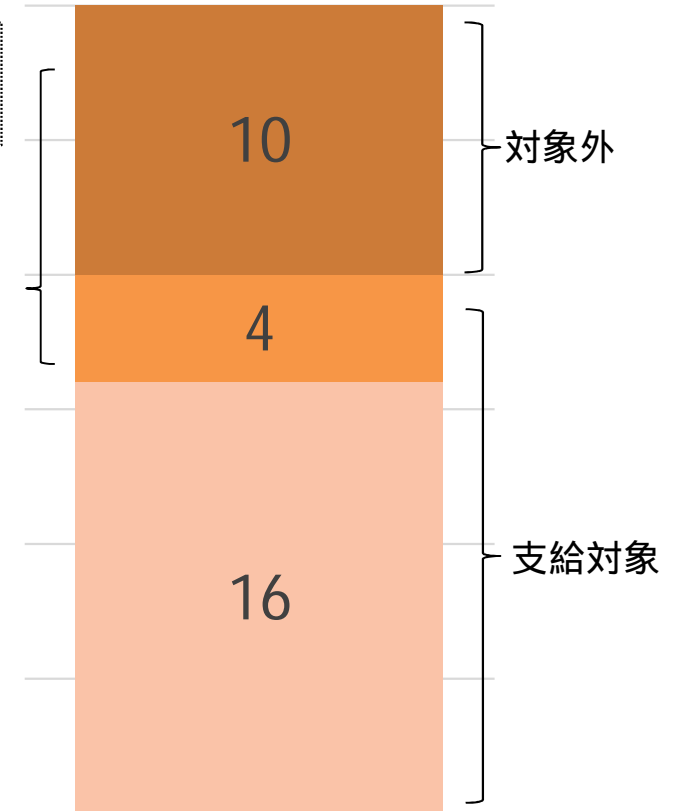
【例2】2割負担の人が総額30万円のスロープ工事



支給対象外 = 10万円
(自己負担)

自己負担額合計 = 14万円

支給対象 = 20万円
(内訳)
自己負担 = 4万円
保険給付 = 16万円



- 保険給付
- 自己負担
- 支給対象外

4 支給限度額

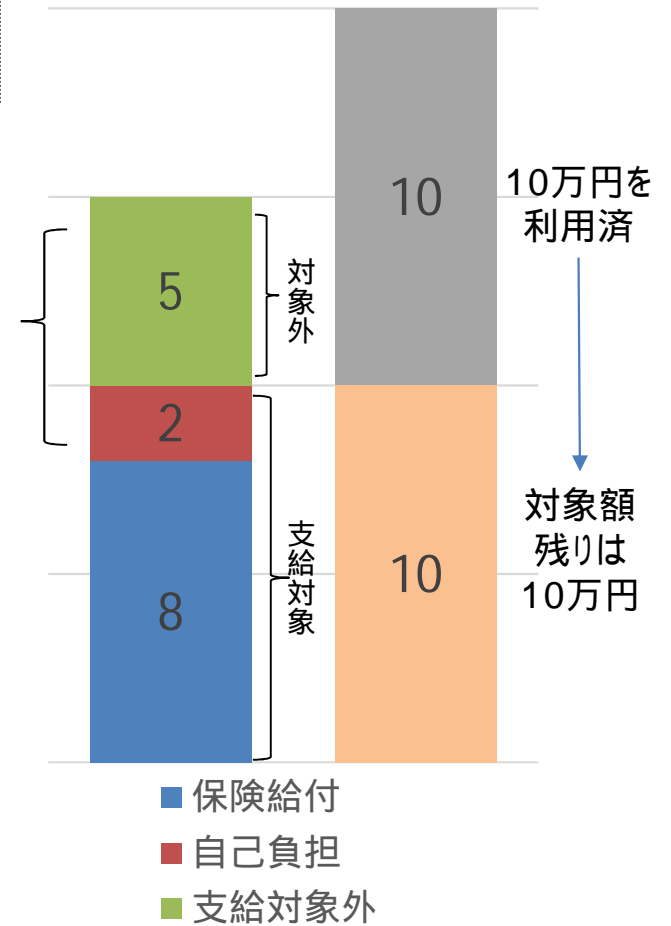
**限度額
20万円**

【例3】2割負担の人が総額15万円のスロープ工事
ただし、過去に10万円の手すり工事済み

支給対象外 = 5万円
(自己負担)

自己負担額合計 = 7万円

支給対象 = 10万円
(内訳)
自己負担 = 2万円
保険給付 = 8万円



4 支給限度額

限度額リセットの条件

3段階リセット

| 段階 | 要介護区分 |
|------|-----------|
| 第6段階 | 要介護5 |
| 第5段階 | 要介護4 |
| 第4段階 | 要介護3 |
| 第3段階 | 要介護2 |
| 第2段階 | 要介護1 要支援2 |
| 第1段階 | 要支援1 |

初めて住宅改修支給を受けた時から3以上段階が上がった場合はリセットされる（1回のみ）

転居リセット

過去、住宅改修の実績があるが転居した場合は改めて積算される

OK

| | | |
|-----|------|------|
| 初回 | 要介護1 | |
| 2回目 | 要介護4 | リセット |

OK

| | | |
|-----|------|---------|
| 初回 | 要支援1 | |
| 2回目 | 要介護2 | |
| 3回目 | 要介護3 | ここでリセット |

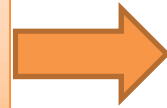
NG

| | | |
|-----|------|----------|
| 初回 | 要介護3 | |
| 2回目 | 要介護2 | |
| 3回目 | 要介護5 | リセットされない |

5 手続きの流れ

生活上の支障

階段の上り下りが不自由
敷居がまたげない・つまづく
畳で滑って転ぶ etc



NG

劣化を理由にする工事

NG

確認通知前に工事着手

ケアマネに相談

見積

申請【事前】

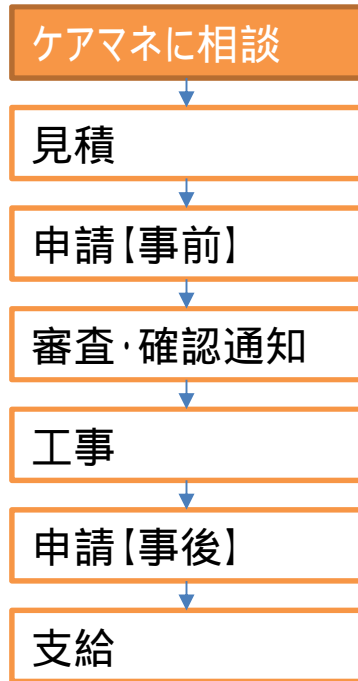
審査・確認通知

工事

申請【事後】

支給

5 手続きの流れ



理由書

【利用者・家族】

担当ケアマネに相談。

現調等により本人の身体状況に照らしてふさわしい改修箇所を確認

【ケアマネ】

理由書作成（ を設置することで、 できるようになる）

理由書に記載のない改修工事は対象外

住宅改修が必要な理由書 (P1)

相 模 原 市

| | | |
|-------------------------|--|--|
| 被保険者番号 被保険者氏名 住 所 | 生年月日 明・大・昭 年 月 日 歳 要介護認定 (該当に○) 要支援 1・2 要介護 1・2・3・4・5 | 改修前 現地確認日 年 月 日 理由書 作成日 年 月 日 住宅介護支援事業所名 所在地・電話番号 介護支援専門員等氏名 |
|-------------------------|--|--|

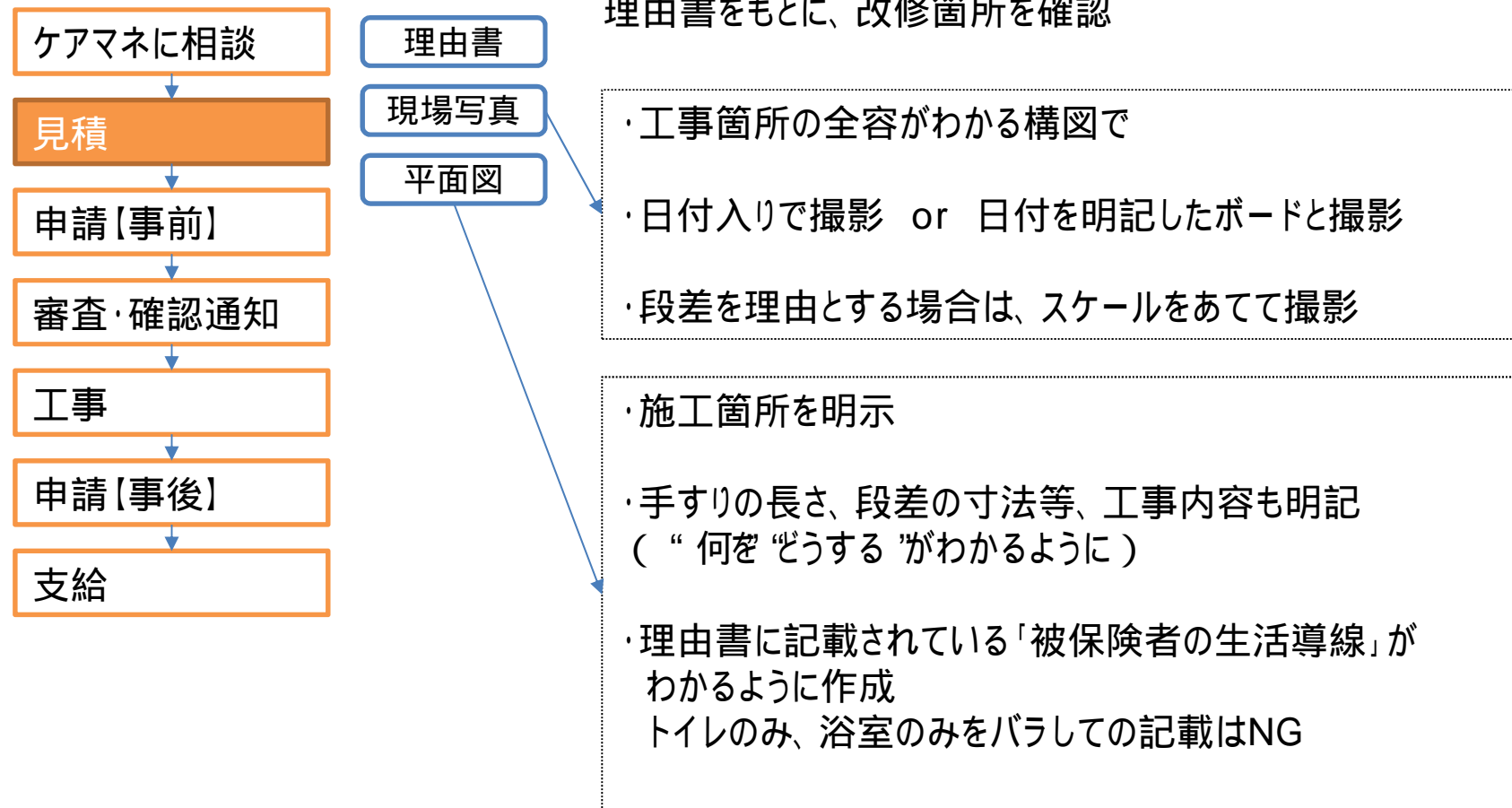
住宅改修の確認事項 (該当する□にチェックしてください)

※在宅(改修する住宅と住所地在同一)
 要介護等認定申請中
 改修2回目以降(利用資格 内)
 ※入浴・入所中(退院等に向けた改修)
 転居によるリセット適用
 介護度の3段階リセット適用
 ※障害施設との併用
 ※在宅または入院・入所中どちらかにチェックが必要。
 ※障害施設との併用の場合は、事前に相談が必要。

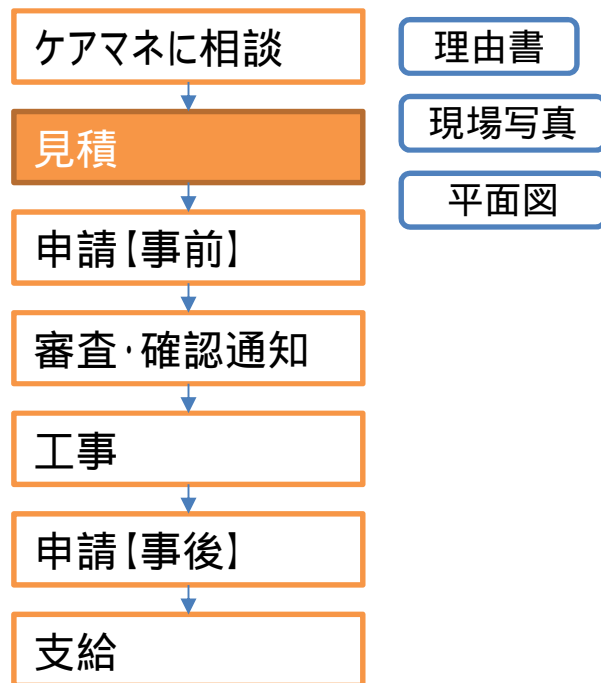
<総合的状況>

| | | | |
|---------------------------|--------------------|--------------------------|--------------------------|
| 利用者の身体状況 | 福祉用具の利用状況と住宅改修後の想定 | ※修前 | ※修後 |
| 介護状況 | ● 車いす | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | ● 特殊寝台 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | ● 床ずれ防止用具 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | ● 体位交換機 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | ● 手すり | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | ● スロープ | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | ● 歩行器 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | ● 歩行補助つえ | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | ● 認知症老人徘徊感知機 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | ● 移動用リフト | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか | ● 移動便座 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | ● 特殊便器 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | ● 入浴補助用具 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | ● 簡易浴槽 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | ● その他 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

5 手続きの流れ

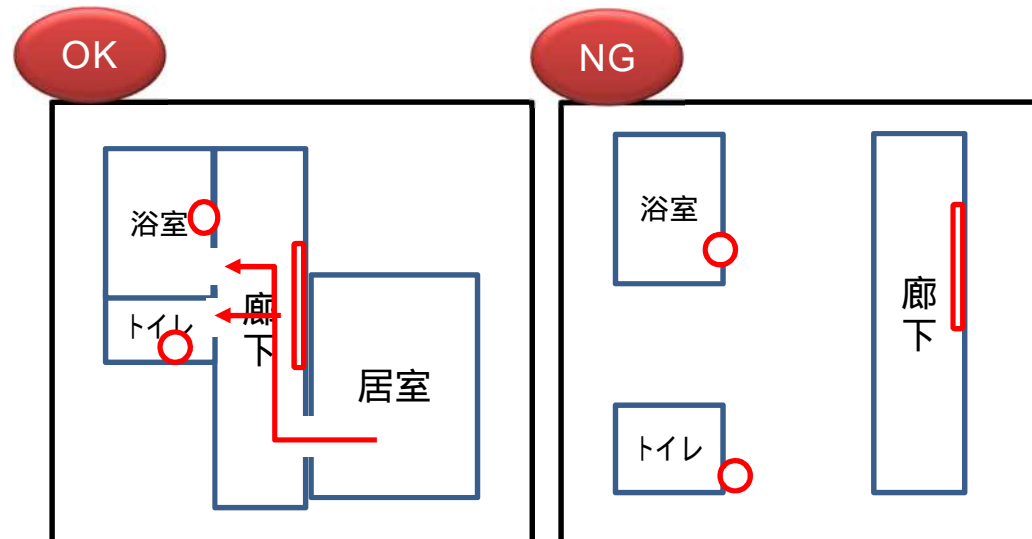


5 手続きの流れ



【施工業者】
理由書をもとに、改修個所を確認

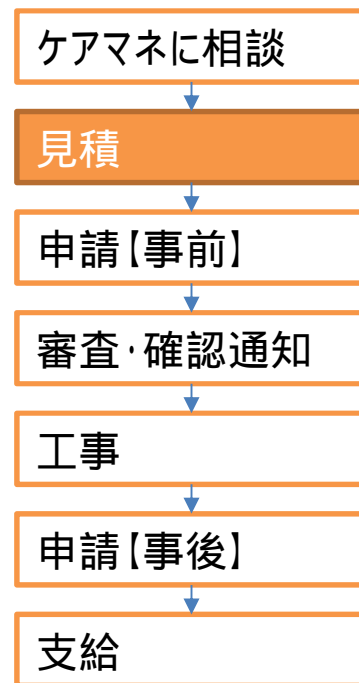
【例】
「居室からトイレ・浴室への移動と、
トイレ内の立ち座り～」を理由とする場合の平面図



理由書通りの位置関係

理由書に記載のある工事箇所が
判断できない

5 手続きの流れ



理由書

現場写真

平面図

見積書

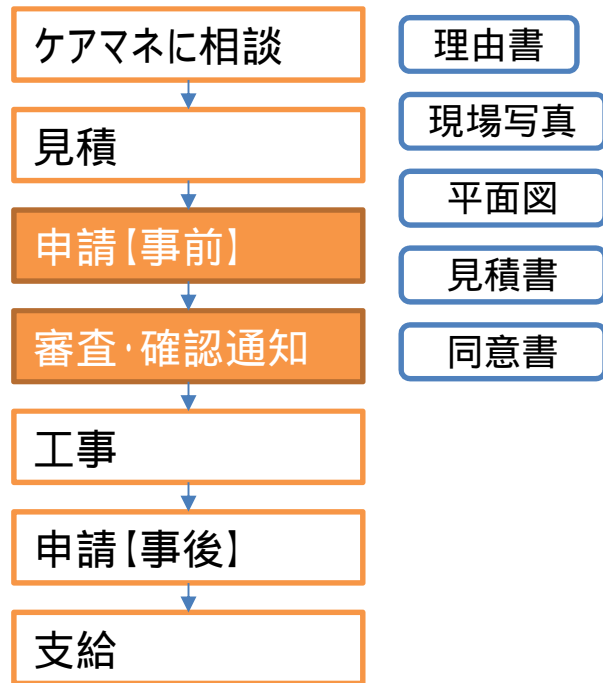
【施工業者】

理由書をもとに、改修箇所を確認

確認をお願いします

- ・宛先は被保険者
- ・部材のメーカー、品番、定価を明記
- ・消費税は小数点以下切り捨て
- ・工事に保険対象外部分がある場合は、対象・対象外の別を明示
- ・ユニットバス工事は
メーカー作成の「振り分け表」を添付
改修理由に該当する箇所の金額の確認に必要です
滑り防止 「床」
段差解消（またぎやすくする） 「浴槽」 など

5 手続きの流れ



【本人・施工業者】
申請書を作成 提出

確認をお願いします

・住宅所有者欄
本人でも記入
別人なら同意書
(家族用・賃貸用で
様式が別です)

・工事予定日
決定スケジュールを考
慮し、余裕をもって

・施工業者の代表者が
変更になったら届出を
忘れずに

訂正書類等が整わない場合は確
認通知が次回以降に繰り返します

※必ず工事前に申請書を提出し、着工許可をいただく
ください。

| | |
|-----|---|
| 受付印 | 印 |
|-----|---|

(第3条第1項関係) (受領委任払い用)

介護保険居宅介護(介護予防)住宅改修費支給申請書

| | | | |
|------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|-------|
| 前年度介護番号 | 介護保険者氏名 | 生年月日 | |
| 介護種別 [要支援()] [要介護()] | フリガナ | 明・大・照 年 月 日 | |
| 被保険者住所 | 〒 市 区 番地 電話番号 | | |
| 住宅所有者 | 本人との関係 () | | |
| 改修内容 (※1) | <input type="checkbox"/> 手すりの取付付け | <input type="checkbox"/> 障子の取替 | 着工予定日 |
| | <input type="checkbox"/> 障子の解体 | <input type="checkbox"/> 障子取止などの床材の変更 | 年 月 日 |
| | <input type="checkbox"/> 浴室扉などへの取替 | <input type="checkbox"/> その他() | 完成日 |
| 改修費用 | 円 | | |

市 町 区 丁目 番地 号
住所 市 区

申請者 (被保険者) 氏名
所在地
受任専業主 専業主名
代表者氏名 電話番号 ()

この申請書に、以下の書類を添付してください。

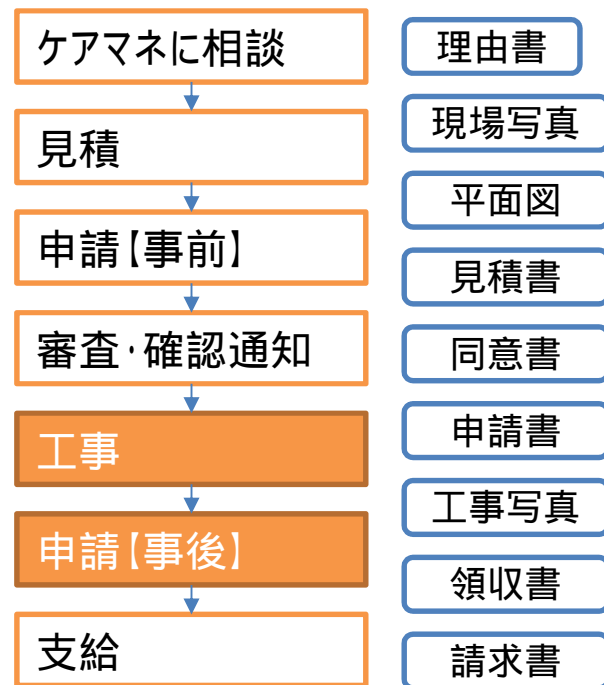
(改修前) 住宅改修が必要な理由書 見積書 工事内訳書 図面(改修費用を含む平面図)
 工事着工の日付入りの写真 所有者の承諾書(所有者が本人と異なる場合)
 ※見積書に工事内訳がある場合は、工事内訳書は必要ありません。

(改修後) 請求書(改修費用額) 領収書の写し(自己負担分)
 工事完成後の日付入りの写真
 ※工事内容に変更がある場合は、変更後の見積書等の書類も提出してください。

○受領書確認欄

| 申請内容 | 申請 | | 改修内容 | 改修金額 |
|------|----|----|------|------|
| | 申請 | 承認 | | |
| 申請内容 | | | | 円 |
| 申請内容 | | | | 円 |

5 手続きの流れ

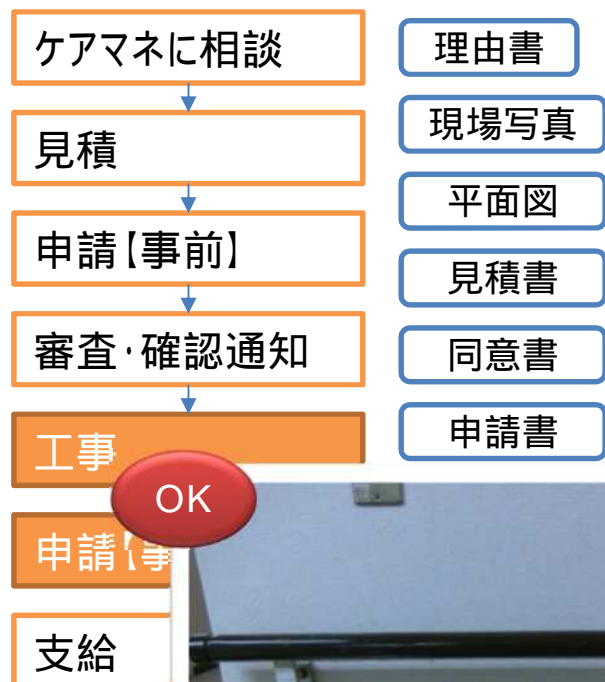


【施工業者】
 施工箇所の写真を撮影

- ・全容がわかるように撮影
- ・日付入りで撮影 or 日付を明記したボードと撮影
- ・それぞれの部材がわかるように撮影

手すりの取付け金具が見えない事例が増えています
 (ブラケットなどの個数が確認できるように)

5 手続きの流れ

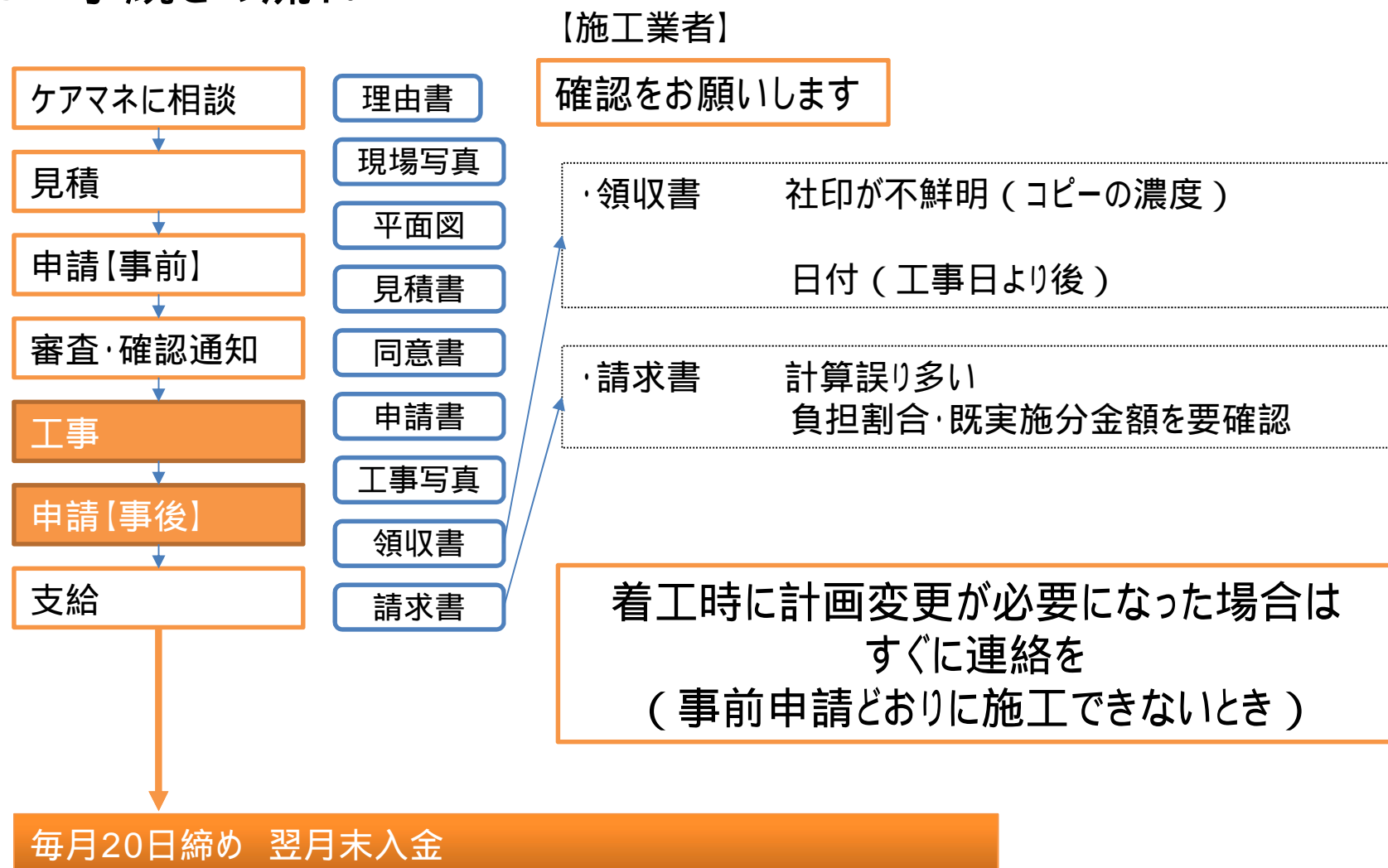


【施工業者】
 施工箇所の写真を撮影

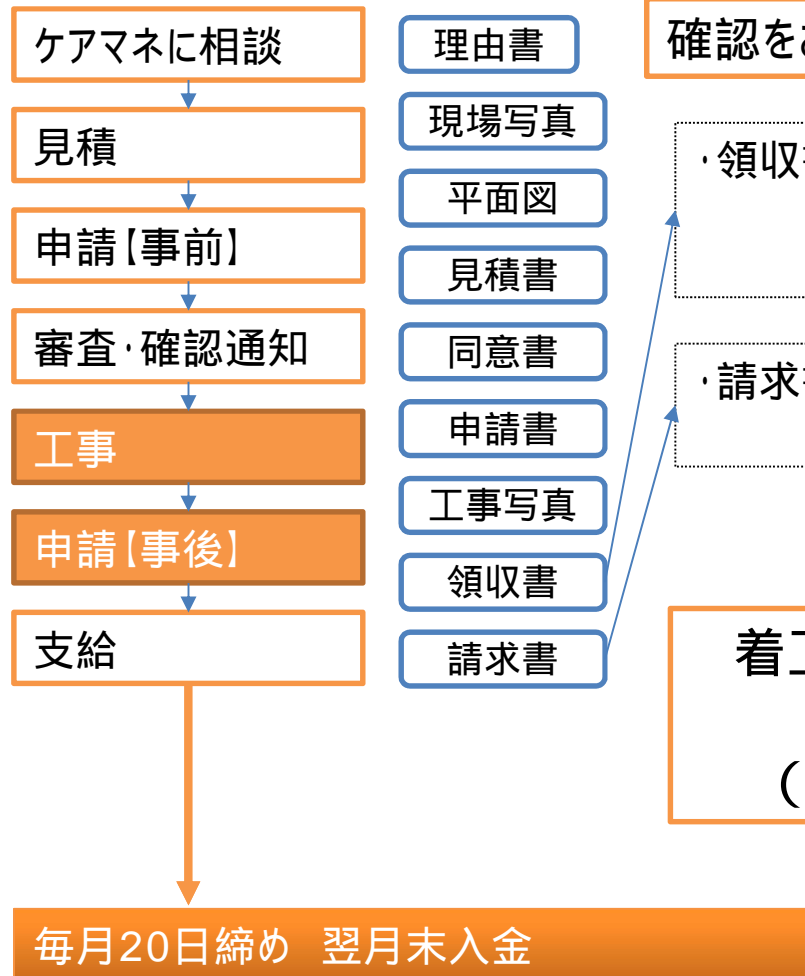
- ・全容がわかるように撮影
 - ・日付入りで撮影 or 日付を明記したボードと撮影
 - ・それぞれの部材がわかるように撮影
- 手すりの取付け金具が見えない事例が増えています（ブラケットなどの個数が確認できるように）



5 手続きの流れ



5 手続きの流れ



介護保険住宅改修に係る請求書（内訳書）

年 月 日

所在地

事業者名

代表者名・印 _____ 印

申請者（被保険者） _____ 様

A：請求額 _____ 円

（負担割合：__割） ※負担割合を確認してください。

B：保険給付額 _____ 円

C：保険対象自己負担額 _____ 円

D：保険対象外費用額 _____ 円

※ B（保険給付額）は18万円（1割負担の場合）を上限とする

※ A = B + C + D

※ B（保険給付額） = 保険対象額（上限20万円） × $\begin{cases} 0.9 \\ 0.6 \\ 0.7 \end{cases} \Rightarrow 1円未満切捨て$

C（保険対象自己負担額） = 保険対象額 - B（保険給付額）

※ 自己負担総額（本人支払額） = C（保険対象自己負担額） + D（保険対象外費用額）

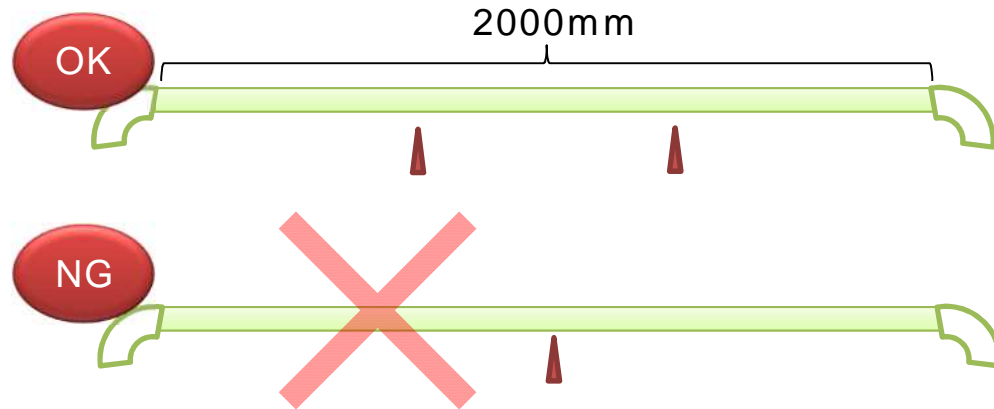
6 よく問い合わせをする事例 (工事種類別)



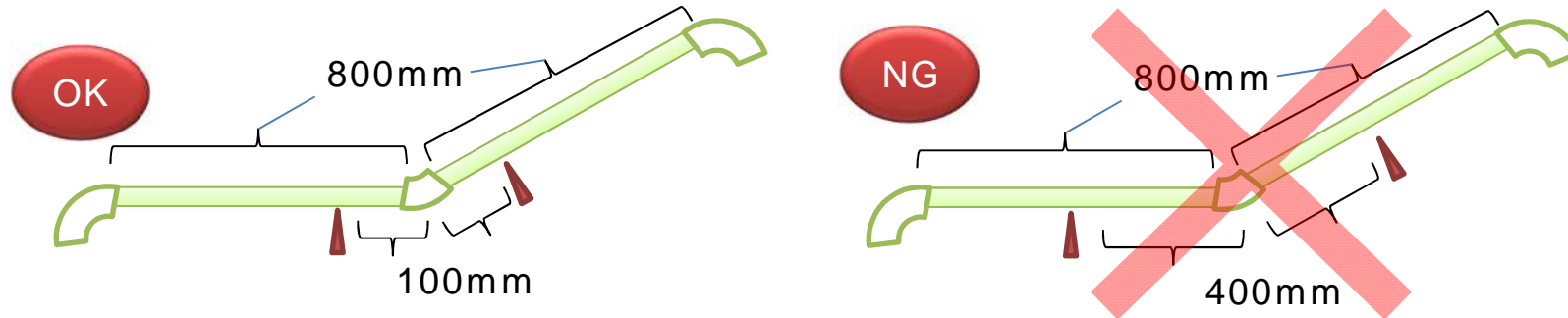
受ブラケットの数

メーカー仕様に対し数が不足

【例1】横向き $\Phi 35 \cdots 900\text{mm}$ ピッチで必要な場合



(例2) ジョイントの両側100mm以内に必要な場合



6 よく問い合わせをする事例 (工事種類別)

手すり

段差

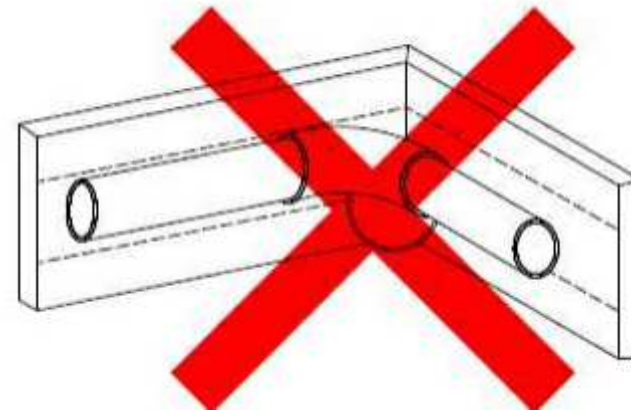
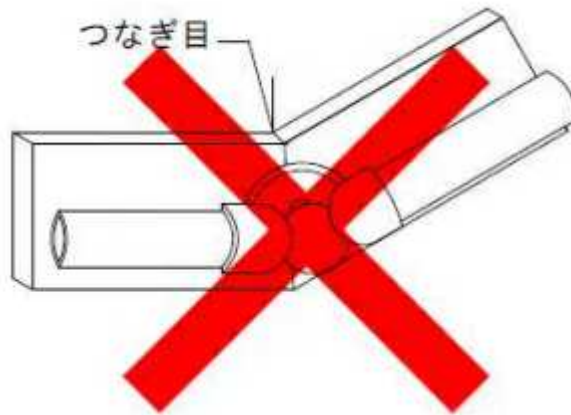
床材

扉
交換

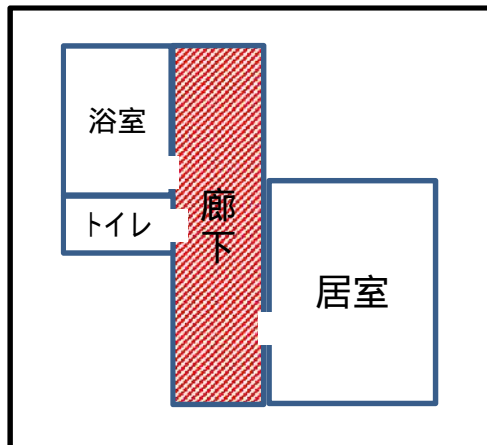
便器

補強板のジョイント部

つなぎ目への金物を取り付けは原則NGです
メーカーにより異なりますので予め確認をお願いします。



6 よく問い合わせをする事例 (工事種類別)



スケールをあてた写真

「またぎ」の場合は両側が必要
(例)・浴槽の外・内側
・段差のある敷居の両側

段差の寸法

施工前・後の段差を図面に記載いただきます
段差がどう解消するのかお示してください

廊下のかさ上げ、等

段差の解消部分を撮影した写真

+

廊下全体(張り替えた全体)

が必要です

6 よく問い合わせをする事例 (工事種類別)



理由書との整合性

【例】滑り止めが目的のとき
防滑性等何らかの配慮がされている製品か
→カタログ添付をお願いします

便器の高さ

洋式 洋式は、身体状況にあわせ高さ等を変更する場合のみ対象
→工事前・後で高さの変更がわかる写真を添付してください

扉の強度

開閉時の何らかの不自由を解消する工事が対象です

OK

(本人の)ふらつきがあるのでスムーズに開閉できるものへ交換する
片麻痺があるので、開き方向を逆にする

NG

つかまるには不安定なので、しっかりしたものに交換する